

平成17年度 京都大学夏期特別講義「計量社会科学」松原望先生

*京都大学経済学部生感想

Initial	感想
3年生	
S.C (3)	この授業をうけてみて、経済学の経済学の知らない分野にふれられて良かったと思う。確率を利用することの重要性も理解できたことは、これから、計量経済学を学ぶために、ためになった。しかしながら、課題がくるのがおそいため、ほとんど時間がありませんでした。忙しいとは思いますが、できればもう少し早くほしかったです。
R.T (3)	もともと、社会学、とくに最近は「数理社会学」に興味があり、楽しく受講させていただきました。「計量社会科学」では、数理社会学と似た分析を行っているように感じたのですが、両者のちがいはどういう点にあるのでしょうか？ もしウェブなどに発表されてましたらぜひ読ませていただきたいと思います。
M.S (3)	部活・体育会本部の活動で時間が取れずここまでしかできませんでした。後日なるべく早くメールにて完成版のレポートを送りたいと思うのですが、よろしいでしょうか。もし可能であれば後日送るレポートで採点していただけないでしょうか。十分な時間を与えてくださったのに完遂することができず、このような凶々しいお願いをしてしまい申し訳ありません。 *までメールいただけないでしょうか。よろしくお願いします。
S.O (3)	一言でいうととても面白かったです。基礎的な数学の知識を見直そうと思って受講したのですが、講義の最中に織り交ぜる哲学的な話題やスクリーン映像はいい気分転換になったし、例も豊富で頭に入って行きやすかったように思いました。内容もエントロピーやカオスの話が今まで学習してきた経済学の話とはまた違った切り口であり、非常に関心が深まりました。(もっともエントロピーはもともと経済学の用語であると後で聞きましたが。。) その一方でゲーム理論に少し時間を割きすぎたかなとも思いました。集中講義の特性上仕方ないとは思いますが、特に残念だったのが最終日は6時には大学を出なければならない用があって、最後まで拝聴できなかったことです。線形計画法の途中で退席したので、ラグランジュ乗数法のところなどは理解できませんでした。 しかし、全体的には3つのモットーを忠実に守った講義であったと思います。最終日にはかなり疲れていましたが、まだまだ勉強すべきことがあるなど再認識しました。ありがとうございました。
T.P (3)	全部面白かったです！
A.B (3)	今まで excel で計算をしたことがなかったので、その計算だけでかなりの時間を取られました。それでも色々なホームページをみてやっていくうちに楽しくなりました。4番の効用関数のグラフをはじめ、x軸の最大値を1,000,000にしたいのいくらやってもそうはならなかったりと相当苦戦しました。Excelはそれほど使う頻度はないのに使う時には突然使うには難しい操作を要求され、使わなくても良いのなら使わないと逃げてしまいましたが、これからはもう少し親しんでいこうかと思えます。3日間と短い間でしたがありがとうございました。
K.O (3)	普段何気なく思っていたことや、無秩序に見えていたものなどを数学を手段として考えていくことにとても興味をおぼえました。経済学は全般的にそうであると言われれば、それまで

	<p>なのですが…。私は特にゲーム理論の分野の授業がとても面白かったです。また、短期間の集中講義のため、普段の授業より理解がスムーズでした。また、このような機会を設けてほしいと思います。本当にありがとうございました。</p>
T.K (3)	<p>3日間の集中講義で、内容も充実しすぎているくらいしっかりしていて、また、課題も多く大変苦労しましたが、同時に大変有意義な講義を受けることができ、個人的には大変満足しています。社会科学の魅力をあらためて感じる事ができた講義でしたし、また、経済学の社会科学としての一面を見直すのに役立つ講義でした。ただ、あまりにも内容を広げすぎて、3日目の抗議が、やや内容が拡くて薄かったのが残念でした。できれば1つの分野に絞って講義して欲しかったです。ただし、そうは言っても先に述べたように大変有意義でした。わざわざお盆の時期に京都大学に来られて開講してくださってありがとうございます。</p>
Y.N (3)	<p>3日間、松原教授の講義を拝聴しましたが、非常にいい勉強になったと思います。社会的選好関数(原文ママ)やゲーム理論の範囲は特に興味深かったですし、課題を演習する過程で、普段あまり使用しないExcelに慣れることができました。1日5時限に及ぶ講義は少々疲れましたが、密度の濃い3日間を過ごせたと思います。</p>
<p>4年生</p>	
Y.O (4)	<p>今まで計量経済学とか統計学とかは計算をするだけで全然おもしろくなかったが、先生の授業は実例、具体例がたくさん入っていておもしろかったです。ゲーム理論といえば、囚人のジレンマとかチキンゲームとか知らなかったけれどビスマルク海戦やベルリン会議など歴史的事項にもあてはめる事ができるとはビックリしましたし、歴史マニアとしてもえました。これからも楽しい授業をして下さい。3日間ありがとうございました。</p>
R.K (4)	<p>これまでは「前提」「周知の事実」という意識だった用語の定義の問題や、理論が生まれた背景などを話して下さったので、すごく大まかにですが、学問の進化の流れのようなものが見えて面白かったです。また、事象を説明するために手段として数学、数学はとても有効だと感じました。微積分の勉強をもう一度やりなおそうと思います。楽しい授業をありがとうございました。</p>
S.T (4)	<p>大変面白い授業だった。一部難しい内容もあったがかなりかみくだいて説明していただけたので、数学とは疎遠だった私も大方理解することができた。この授業で扱ったような、定量的に物事を捉えるということは、今後も役立つと思う。自分が少し賢くなったことを実感しました。ありがとうございました。</p>
S.T (4)	<p>具体例又は良い意味での脱線、更には学生が分かりにくいであろう部分のフォロー等非常に分かりやすく楽しい講義であった。ただ“社会”に科学を持ち込むという行為に対する違和感は正直な所最後まで迄ぐえなかった。学問的な遊戯としては知的好奇心を刺激されたが、これらが実際の事象に如何にフィードバックされていくかについては、(講義の内容とずれる事もあり)聞く事ができず残念だった。そういった部分の解説がHPなどで公開される事があれば嬉しく思う。</p>
T.N (4)	<p>正直、私にとって、理解するのが難しい授業でした。ゼミではコーポレートガバナンスを専攻していることもあり、普段、計量的な分析をすることはほぼ皆無でした。しかし、来年から、M&A業界で働くことになっており、企業価値の算定などで、計量的な分析をする機会が多くなると思われます。先生から習ったことが仕事で直接使われることはないでしょう</p>

	<p>が、ある現象を数学的に表現、分析するという点では共通していますので、今回の集中講義で勉強した汎用的な考え方をこれからの自分の仕事に繋げていきたいと考えます。課題が全然出来ていないこと申し訳ありません。3日間ありがとうございました。</p>
E.M (4)	<p>とても興味深い内容でしたが、数週間で理解し切るには、少しばかり骨のある内容でした。しかしこれから、著書の計量社会科学で勉強したいと思います。</p>
A.M (4)	<p>3日間の講義、ありがとうございました。事前に教科書を購入して読んだときには、数式が多く、内容も高度だったため、自分が講義についていけるのかどうか、とても不安でした。しかし、講義を受講していくうちに、数式の持つ意味や、それぞれのトピックがもつ意味や目的、面白さがわかるようになり、楽しんで講義を受けることができました。わかりやすい講義をありがとうございました。</p>
M.Y (4)	<p>お盆の真っ只なかでの授業でしたが、最初はこんな時期に本当にやるのかと半信半疑でした。授業は大学の講義としては珍しく、分かり易かった。授業を聞いているときは分かったつもりでいるのだけど、いざレポートを書く段になると、全く手が動かないということがよくあった。レポート問題については、授業を聞いただけではとても解ききれものではないような気がした。教科書を読み込まないといけないのだろうけど、忙しい時期の一週間では、かなり困難に感じた。なんだか、レポートの不出来の弁解ばかり書いているようで見苦しい。。</p> <p>とにかきう、3日間の授業で「関心」は確かに持った。せっかく教科書も手に入れたのだし、あと一ヶ月の夏休みの間に読んでみようかなという気になっている。台風も近畿には来ないし、まだまだ京都の夏は暑いので外に出る気もおこらないからちょうどいいかもしれない。</p>
R.Y (4)	<p>講義の三日間と、一週間程度の自習では、とてもレポートを作成できるだけの能力をつけることが出来ませんでした。自分の能力の低さに、ただ愕然とするばかりです。申し訳ありません。ただ、講義は非常に興味深く、面白く聞かせていただきました。ただただ卒業に必要な単位を取得するために履修登録を行ったのですが、実際聞いてみると新たな発見があったので、履修してよかったと思います。私は現在4回生で、就職も決まっております。この授業の単位が取得できなければ、卒業は大変厳しいものになります。このようなレポートで単位をいただきたいと申しますのは非常に浅ましいことと思いますが、何卒お慈悲の心をいただきたいと存じます。よろしくお願いします。</p>
S.A (6)	<p>もっと長い時間をかけて勉強したかったです。三日間の講義だったのでかなり忙しかったです。半年かけてやったほうがもっと良く理解できたんだろうと思います。</p>
M.S (6)	<p>はじめに 夏期集中講義として参加した計量社会科学という学問は、中身には多少なりとも知っている分野はありましたが、これまでまったく触れたことのない学問でした。価値と効用、不確実性など講義を通して、非常に興味がわきました。ただ、私の怠慢のせいでテキストの購入が遅れていました。その結果、テキストを購入しようと思っても購入が困難になってしまいました。レポートを書いている今も、テキストが入手できていない状態です。</p> <p>そこで、残りの学生生活においてさまざまな学問に触れようというのがこの一年間の私の課題です。この集中講義に参加させていただいたのも、その目標がきっかけです。この講義</p>

	<p>では、計量社会学だけではなく、その他の分野にも興味を持ちました。それは松原教官のホームページに掲載されていた、リヴァイアサン（ホップズ）へのコメントからです。『国家・国民と政治の関係が象徴されている。絵からも、国家の機能や作用はそれを構成する人民から説明されるという近代政治理論の萌芽が読み取れる。』では、どのように人民はとらえられているのだろうか。そして、現代の経済学的前提には合理的経済人という前提があります。もちろん、これは前提なので人の行動はこの前提のみで捉えることはできません。それでは、人の行動を私たちはどのように捉えればいいのか。これが、私がこの講義、松原教官とお会いして見つけたもうひとつの課題です。</p> <p>先にも述べましたが、現在テキストが手元になく計量社会学の基礎課題を回答するのが非常に困難な状況です。そこで、私がこの講義を通じて自分なりに見つけた課題について、このレポートで書かせていただくことは可能でしょうか。非常に身勝手なお願いで申し訳ありません。眼を通していただければ幸いです。（以下本文続く）</p>
D.Y（４）	<p>とにかく、扱う分野の広さに驚きました。哲学から数学までまさに社会学、と感じました。エントロピーのお話がやはりその中でも特に興味深く、ほかの授業では決して聞けなかった話をきかせていただいて感謝しております。扱う数学のレベルも概論系の授業としては適当だったのではないのでしょうか。ゲーム理論についても再度興味がわき、後期にもっと勉強してみようかと考えております。３日間本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。</p> <p>卒業に単位がどうしても必要なので、なんとか60点以上つけてください。点数が満たない場合は追加のレポートでも何でもします。</p>
2年生	
Y.H（２）	<p>私は数学が大の苦手がこの授業についていけるのかとても不安でした。（実際あまりついていけませんでした。。難しかったです。）でも東京大学に通う友人から「おもしろいから絶対受けるべき」と強く勧められ、頑張って三日間乗り切りました。</p> <p>エクセルに不慣れなことと時間的制約（提出締切り前に実家に戻らなければいけない）のため課題は十分な出来とは言えませんが、できるところまではやっただけで見てください。</p> <p>実は私はこの授業で初めてゲーム理論を知りました。（存在自体は知っていたのですが詳しく見たのはこれが初めてです。）だからまだじっくりしていません。また後半のカオスや微分方程式の部分も理解できたとは言い難いです。</p> <p>しかし難しかったものの友人の言う通り非常に面白く興味深い授業でした。特に印象に残っているものは「投票のパラドックス」です。民主主義的な決定とされる投票が実は民意に反した結果を生じさせることがある。。ということにはとても驚きました。しかも、このことをはじめ指摘したのがコンドルセというフランス革命のジロンド派の人物であることにも衝撃を受けました。これまでフランス革命というと、モンテスキューやロックといった啓蒙思想の印象が強く、思想的・哲学的な面ばかりを見ていた気がします。ビスマルク海戦をゼロ和ゲームという観点から見ると面白かったです。高校の日本史や世界史で習ったような馴染み深いものも今までとは違う新しい側面から見ることができ、とても新鮮に感じました。</p> <p>エントロピーなど自分一人で勉強していると絶対踏み込めないのでは。。と思うような領域まで習うことができよかったです。それから、先生の板書が最初から最後まできれいで丁寧であったことにも感激しました。京大の先生は結構いい加減なので。。（笑）</p>

M.H (2)	私は朝起きることができなくなり、前期の試験を落としてしまいましたが、先生のエントロピーのお話を聞き、人は楽な方へと流れることを知りました。これからは、人間らしく楽な方へと流れそうな自分を理性で制御していこうと思います。ありがとうございました。
Y.H (2)	<p>今回三日間という短期間でありながら、この講義を受講したことによって、私は、計量社会科学という学問がどういったものなのか、という大まかな輪郭は把握できたと思っています。先生の丁寧なご指導と、教科書に書かれている理論を、現実の諸問題と関連させていくアプローチによって、難解ながらも、私たちの生活に非常に密接している学問だという印象を受けました。</p> <p>私が特に興味深かったのは、中2日に行われた様々なゲーム理論の応用ですが、それ以外にも、初日の政治学に関するお話はとても参考になりました。プラトンの哲人王の理論に関して、私は以前レポートを作成しましたので、今回の課題に添付しておきます。もしお時間があればご一読して頂ければ幸いです。(cf. 「デモクラシーを考える」)</p> <p>三日間1限から6限までというハードスケジュールの中で、非常に密な講義をしていただき、ありがとうございました。</p>

京都大学法学部生感想

T.H (4)	板書も多くとても熱心な授業でした。明日から実家にかえり、家にも実家にもパソコンがないので、今日、学校でするしかなかったので中途半端ですが、これで提出します。
---------	--